

別添資料

事後アンケート結果

対話会に参加した学生 60 名のうち、55 名から回答を回収(アンケート回収率: 91.7%)

学部・学年

人文社会科学部、教育学部、理学部、農学部の「エネルギーと環境」の講義を受けている 3 年生と 4 年生の計 60 名

専攻

文系	15
理系	38
文理統合系	2

進路

就職	35
進学	20

希望先・分野

希望先・分野	人数
IT	3
なし	1
エネルギーセキュリティ	1
バイオインフォマティクス	1
マスコミ、リサイクル、保険関係	1
メーカー	1
中学校教員	1
住宅関連	1
個人情報	1

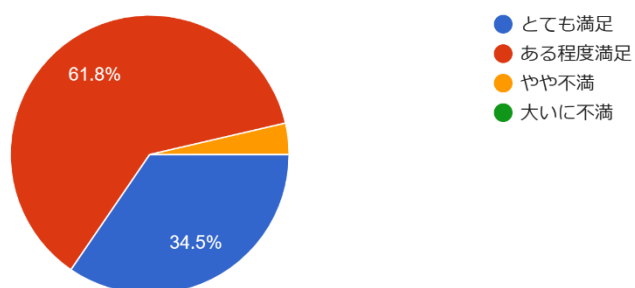
希望先・分野	人数
公務員	4
公認会計士	1
創薬	1
化学	3
化学系	1
地球科学	1
大学院	1
希望なし	1
広告代理店	1
放射性廃棄物	2
教育系	1
文系職	1
木質科学	1
林業	1
核融合	1
決めてない	1
物性物理	1
物流業	1
物理学	1
環境系	1
生物分野	1
県庁	1
線源管理	1
自動車産業関連	1
薬学系	1
農学分野	1
農学系	1
農業	2

希望先・分野	人数
農業分野	1
静岡大学大学院 放射化学	1
食品	3
食品系	1
食品系統	1
食品関係	1
鳥類の生態、人間と生き物の共生	1

1) 今回の対話会の満足度

満足度	人数
とても満足	19
ある程度満足	34
やや不満	2
大いに不満	0

今回の対話会の満足度
55件の回答



理由:

色んな意見を聞いて知識が増えたため。
自分と違う分野の人たちの意見を聞くことができた。
自分と異なる学部の人と、一つのテーマについて話し合うことができ、自分が気づかない意見に気づくことができたから。
勉強になった。
話せたから。

人それぞれで考えることが違い、色々な物事を色々な視点で捉えることの必要性を感じました。

初めて得る知識などが得られて良かったです。

知識を深めることができたから。

シニアの方にうまく進行して頂けた。

ヒントを頂きながら対話できたから。

実際に原子力に関わる方との対話できたから。

高速炉についての話が聞けた。

興味深かったから。

聞きたい話を聞けたので満足しました。

同じ講義を受けた人がどんなことを思ったか、感じたかが知れて良かった。

色々な意見が出て面白かったが結論は出なかったため。

興味のあったことが聞けた。

事前に聞きたいことを聞け、他の人にも地元で原子炉があるなど自分とは違う意見もきちんと聞けたと思うため。

他学部の人と対話する機会がほとんどなく、今回はそれぞれの学部の視点での意見も聞くことができて、非常にいい体験となったから。

色々な人の意見を聞くことができたから。

エネルギー問題について他者の考えを聞くことができたから。

原子力シニアの方から貴重な意見を聞けことができた。

今まで持っていなかった視点から考える事が面白い出来た。

専門の方から詳しいお話を聞くことができた。

意見が聞けて貴重な機会だった。

自分の専攻範囲外の内容であったので、新しく知ることが多かった。

特になし。

原発についてよくわかった。

専門の方と腹を割って話せて良かったが、流れが悪かった。

他の学生の意見も聞けたのがよかったから。

とても勉強になりました。

他の人がどのように考えているかを知ることができたから。

放射性廃棄物の処理(処分の意)場所決定のためには、その自治体へのメリットの提示が必要不可欠であることを理解できたから。

お互いに意見を交わす事ができたから。

他のグループの音がうるさく、シニアの方の音が小さく、聞き取りづらかったの
で、ほとんど聞こえなかった。

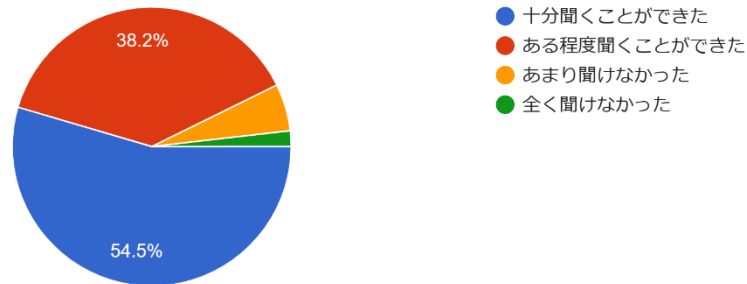
他の人の意見やより詳しい知識を得られたから。

様々な方と対話ができ、私の中での理解を深められたため。
 色々な人の話を聞いたため。
 他の人の原子力に対する知識・反応の温度感を知れた。
 いろいろな意見をきけてためになった。
 事前告知が不足していた。対話テーマが大雑把に感じた。
 何度も自分の発言をする機会をいただけて満足した。
 文系の人たちの意見が理系の自分にはない視点からの意見でとても参考になったから。
 いい経験になったと思うから。
 自分から意見を言う機会が少なかったから。
 対話によって考えを深められてよかった。
 自分の考えについて見直す良い機会だった。
 活躍されていた方のお話を聞くという貴重な体験ができたため。
 中身のある話し合いをすることが出来た。
 色々な学科の意見が聞けたことと、自身では気づけなかった点を指摘していただけたので有意義だと感じましたら。
 とても為になった。
 様々な学部の人が出し合い、建設的な議論ができた。
 意見などをそれなりに聞いたが、時間が足りなかったと感じたため。
 すごいためになったけど時間が足りなかった。
 自分からもっと意見を言いたかった。

2) 事前に聞きたいと思ったことを聞けましたか

聞きたいことを聞けたか	人数
十分聞くことができた	30
ある程度聞くことができた	21
あまり聞けなかった	3
全く聞けなかった	1

事前に聞きたいと思ったことを聞けましたか
55件の回答



理由:

聞けたから。
わかりやすかった。
それぞれの視点で様々な話が出て良かった。
最初に関心ごとについて聞いてくれたため、それについて議論できたから。
上記の通り。
もともと聞くことがあまり決まっていなかったのですが、対話を通じてどんどんと疑問点が生まれ、解消できたため、良かったです。
学生主体の対話を目指してくれたため。
あまり質問できなかつたから。
議論が煮詰まってしまった感があった。
エネルギーセキュリティというテーマに沿って話げできた。
原子力の魅力についてわかつたから。
高速炉についての話が聞けたため。
上記のとおり聞けました。
聞けたので。
発表が聞き取りやすかつたため。
聞いて意見も聞けたから。
きちんと質問及びそれに対する答えは得られたため。
環境問題をどのようにしたら減らせるのかという点が聞きたいと余っていた点だったが、その点について、発電の観点から学ぶことができたため。
エネルギー問題について様々な視点での内容が聞けたから。
洋上風力発電について話を聞けたから。
丁寧に教えてくれた。
シニアの方が適切に回答をしてくださり疑問をある程度理解できた。
自分が疑問に思っていたことを専門の方に聞くことができた。

質疑応答が丁寧だったため。
再生可能エネルギーについて疑問に思っていたことについて聞いたため。
コスト面の削減できる部分についてしれたため。
原子力防災についてよくわかった。
事前に考えていたこと以外のことも聞いたから。
個人的にどうすれば普及するのかということをよく考えていて、そのことについて深めてもらえたから。
お聞きした質問に対して具体的に教えていただけたため。
特になし。
放射線(性)廃棄物処理(処分)場の住民への理解に関して、議論ができたから。
意見交換方式が良かった。
時間が少ないので、聞いたことについて話してもらえなかった。
自分が発言する機会が充分にあったため。
対話が主であったため、聞く行為はなかったが、それなりに疑問に対する解を得られたから。
光(高)速炉の話聞いたため。
新型の炉や燃料について。
いろいろ質問に答えてもらった。
シニアの人が積極的に話していただけたため。
シニアの先生の他にも生徒の皆さんからも意見をいただけてよかった。
カーボンニュートラルについて理解を深めることができたから。
エネルギー問題について話すことができた。
積極的に質問したから。
すべて聞くことができた
最初に一人ずつ気になっていることを話したから。
質問したことによりしっかりと触れたださったため。
真摯に答えてくれた。
自分の考えていた意見を話し合いの場で消化できたので満足でした。
十分よく聞いた。
他の班員の議論が白熱しており、自分の聞きたかったことを中々聞けなかった。
対話会の中で、聞きたい内容が話題に上がりそれなりに聞いたが、もっと時間が欲しかったため。
親身になってくれた。
きちんと準備ができていなかった。

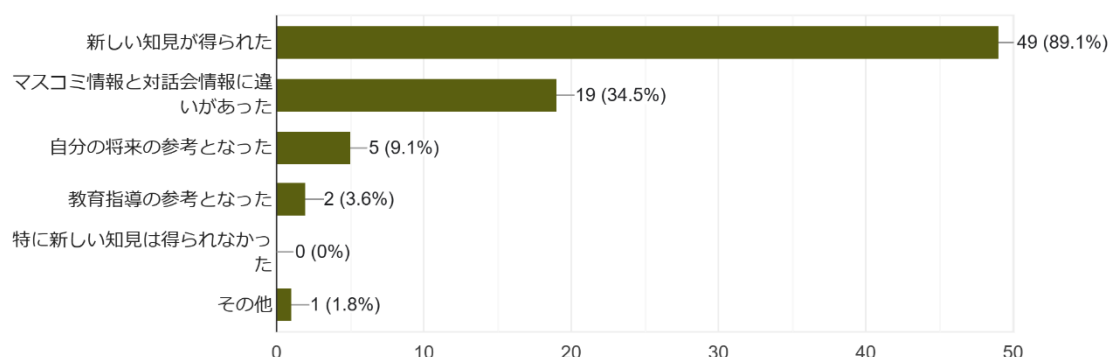
3) 今回の対話で得られたことは何ですか？

(複数回答可)

対話で得られたこと	数
新しい知見が得られた	49
マスコミ情報と対話会情報に違いがあった	19
自分の将来の参考となった	5
教育指導の参考となった	2
特に新しい知見は得られなかった	0
その他	1

今回の対話で得られたことは何ですか？ (複数回答可)

55件の回答



対話で得られたこと具体例:

環境問題についても、教育が大切でその他でも長期的にも時間がかかる。
 やっぱ原子力発電は必要となってくる。
 国民理解を得るためには、マスメディアを活用していくとよいということ。
 マスコミの報道に問題がある。
 処理場(処分場の意)を作る手順。
 原子力発電。
 原子力の本来のリスクの低さ。
 電気自動車は本当に環境にいいのか。
 エネルギーセキュリティの課題は深刻であるにも関わらず、確定的な答えがないことに複雑さと難解さを感じました。
 食品の被爆基準。
 どの発電にも、メリットとデメリットはある。

光速炉についての話。
原子力と再エネのメリットデメリット。
上記のとおり、もんじゅの話を聞きました。
生活水準をどこまで落とすか、という話。
再生可能エネルギーの割合を増やすことの大変さ。
自分で調べて考えることの重要性。
核融合の話で、思ったより実用化が近そうなら、反対の声が大きい場合、無理に原子炉を作らなくても50年後に期待して一旦火力で凌ぐ現状も一つの意見ではないかと思っていたが、原子炉の稼働期間などで新規建設や再稼働のメリットを得られた。
浜岡原子力ではこれでもないほどに厳重な警備をしてる。
多くの人が原子力発電に必要性を感じ、これには国民理解を得ることが最も難しく、重要であると感じた。
生活水準引き下げという視点があるということ。
放射線廃棄物の処理方法
普段触れる情報と全く異なる視点から現状を見ることができたから。
原子力のコストは低い水準を保っており、日本の中でも電気代の格差が生じている。
エネルギーとの向き合い方。
カーボンニュートラについての現実的な意見。
放射線について漠然と恐れている方が多いと言う知識。
防災の現状。
今の中高年くらいの方は放射線のことについて詳しくは習っていなかったということ。
安全性を強調するだけでなく、有用性も広めていくべきである。
原子力発電の安全性 人体に与える影響を考えた上で基準が決められているため、食べ物からの影響等はほぼ問題ない。
原子力発電の安全性と高速炉もんじゅについて。
処理場の誘致に伴う、国からの助成金やインフラ整備、新たな雇用の創出等があることをしれた。
原子力に対する世間の認識、海外の原子力について。
原子力発電の今後と、費用、防災などについての知識
再生可能エネルギーの具体的な施設の案や、再生可能エネルギーを使うことのメリットやデメリットについて詳しく知ることが出来た。
埋立地の剪定に関する住民の考えについて、「理解はできるが共感はできない、自分の土地でなくてもよいなら、そっちにしてほしい」という感情論があること。

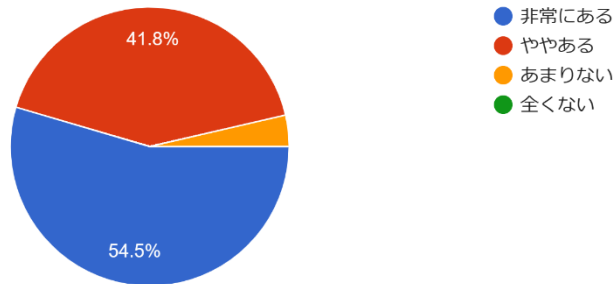
絶対に安全なものは存在しないということ。
 原発周辺の安全対策や避難についての法律や運用について。
 原子力のコストの低さ。
 エネルギーと環境負荷の2面性。
 授業では学ばなかった新たな知識
 エネルギーの燃料の地政学的リスクや原子力発電に対するマイナスなイメージ
 について。
 今までの考えとは少し違う考えに触れられた。
 マスコミとの違い。
 北海道での文献調査に関する具体的な事例について話を聞くことができた。
 廃棄物の処分ができないのに原発を使い始めた人は無責任だなと思っていた
 が、場所がないだけで技術的には処分可能。全くの無責任ではない。
 建造に関するコストや運用時の利点など。
 放射性廃棄物の再利用への取り組みが実際に行われていること。
 エネルギーミックスの新しい意見です。
 実現可能性。
 原子力に対する風評被害は教育不足によるものが大きい。
 自分は、放射性廃棄物と住民の感情について知りたかったため、正しい情報とか
 よりも、人とその事について会話することに意味があり、他の人の考えを聞いた。
 SNSがあるなど。
 福島の野菜や魚は厳しい基準を通過して安全だということ。

4)「学生とシニアの対話」の必要性について

必要性	人数
非常にある	30
ややある	23
あまりない	2
全くない	0

「学生とシニアの対話」の必要性について

55件の回答



必要性の理由:

真新しく楽しい。飽きない。

自分の表面的な情報や学んできたことだけでは知り得なかった、実際に現場で働いたからこそ感じている思いなどを聞くことができてから。

自分が講義の中で得た知識をアウトプットする機会が必要だと思うから。

調べればわかる

授業レベルで十分

年齢層の異なる方々との意見交換はこれからの将来のためにも必要だから。

自分たちよりも圧倒的に社会経験が多い方の話を聞くことができるため

知識を深めることができるから

現場の声を聞くことができるから。

かつて専門で勤めていた方の話で具体性があった

実際にそこに属していた方の話を聞く機会はなかなかないから

知らない話が聞ける

関係者の話を聞くのは大事だと考えるから

その分野についての知見を広げられる

かなりの知識と認識の差があると感じたため

新しい情報が得られる

専門家の意見を聞くことで新たな学びに結びつけることが出来た

近くで話すため意見交換がしやすい

新たな知見が得られるため。

世代間での考え方にも違いがあるから。

我々とは異なる世代がどのようなイメージを原子力に持っているかが聞けたから

理解が深まるから

シニアの方と対話しないと触れられないテーマや内容をお話出来るから

新しい発見や考え方を聞くことができた

意見を交わすのは重要である。

世代によって持っている意見が違うことがあるので、それぞれの意見を交換する場が必要であると感じた。

放射線に長く関わってきた方の意見がまだ触れている期間の短いわたしたちにとって経験として語っていただくのはとても有益であると考えため

特になし

学生がシニアから学ぶのももちろん良いが、シニアの方も学生の意見を聞ける良い機会だと思うから。

普段対話しない専門家と対話することで、自分の知見を増やすことができたと同時に、自分の意見に自信を持つことができたから。

自分の知らない知見を得られたため。

講義では知ることができない、新しい知見を得ることができるから。

シニアの考えを知ることができるから

メディアでは情報が錯綜している為、正しい知識を得る事が難しい場合もあるから

聞きたいことを聞いたら、答えてもらえるかもしれない。

世代が違えば常識や知見も異なっているため。

ただ若い人の意見だけでなく、それを包括した上でまとめてくれたり、これまでの経緯から俯瞰した意見をくださったりするため。

長く研究してきた人たちの話を聞いたのが有益だったため

他の学生と意見を交わす機会でもあり、地域社会や国際情勢など政治について考えることができた

普段聞かないことが聞ける

シニアの方と話す機会がそもそも少ないため。

一人一人の生徒に対する意見へコメントがいただけるためより深い理解ができる。

我々若い世代の知らない事や考えたことのない観点からの意見が参考になったから

新鮮な会話ができる

知識がある方との対談が貴重だから

実際に分野に携わってきた人たちに直接話を聞けるのは貴重だと思うから
年齢差による価値観の違いや知識・経験の差から得られるものは多い。

広く人への理解のため。

上とおなじ

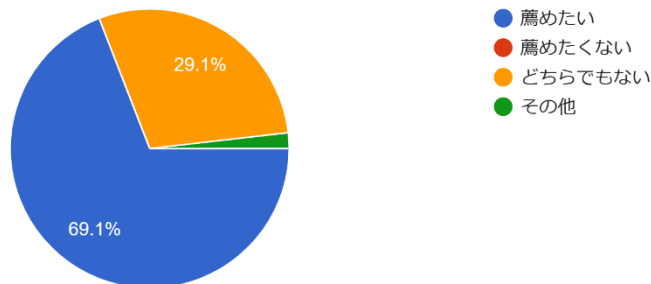
世代間で考えていることが異なるうえ、働いていた人の生の意見を聞くことができるのは大変有意義であったからです。

年齢が違う為。
 自分達とは違った観点からの意見を得られる
 価値観によると思う。絶対に必要ではないと思うが、環境や原子力について興味
 があるのならば、聞いといて損はないし、有意義であると思うため。
 関わる機会がないから
 有識者の話を聞けるから

5) 今後機会があれば友達や後輩に対話会を薦めたいですか

対話会の推薦	人数
薦めたい	38
薦めたくない	0
どちらでもない	16
その他	1

今後機会があれば友達や後輩に対話会を薦めたいですか
 55 件の回答



回答の理由:

座学より楽しい。
 様々な意見を聞くことができたから。
 自分が興味がなければ、楽しくないと思うから。
 好きにすればいい。
 やってもやらなくても大丈夫と感じたから。
 自分と同じ経験をして欲しいから。
 貴重な経験であるため。
 いい機会なると思うから。
 自分だけでは得られない物の見方や知見を得られるから。
 経験になる。

なかなか経験できないことだから。
みんな詳しく放射線や原子炉について知らないため。
気になる人が聞けばいい。
知ることが理解に繋がるから。
話し合いは有れば有用だと思うため。
必ずしもその人にとっていいとは限らないから。
色々な人の意見を聞ける。
必要性と同上。
良い機会だったため。
通常の講義では得られないものがあると感じたから。
異なる世代と触れ合うことは物事を多角的に捉える機会となるから。
興味がないと面白くないと思うから。
特に文系の人にとっては貴重な機会だと感じたから。
ぜひみんなに受けて欲しい。
対話することで新しい知見を得られる。
普段あまり話すことない世代の方と話すことのできる貴重な機会であるため。
放射線の危険性について経験込みで知識を得られるため。
必要なひとだけでいいと思う。
あって損はない機会だから。
より広く正しい知識を得られるから。
このような機会があることで自分自身の持っていた原子力発電に対する悪い印象を払拭することができたため。
他の人がどのように考えているかを知ることは重要であると思うから。
参加したいと思う人に参加してもらった方が建設的な話し合いができると思うから。
今はどこでも情報を得られる為、対話会である必要性には欠けるから。
悪くはなかったが、進めるほどのものでもない。
自分の考えをより多面的にとらえ、考え直す機会を得られるため。
個人の趣味に近いので、あまり人に薦めようという気はないから
他の人と意見を交換できるため。
原子力について正しい知識を得ることが、より効率よく資源を利用することに繋がると考えるから。
ためになったから。
時間が足りないため満足できない可能性がある。
原子力に対する誤解を解いたり新たな知識を得られるため。

知識や考え方のバラバラな人同士の対話は新鮮で刺激もあったが、時々会話の噛み合わない時があったから。
 好みが分かれると思ったから。
 普段の授業と違って刺激になるから。
 知識を得るだけであればインターネットを使えばよいから。
 必要性の理由と同様。
 無知のままでは損なため。
 様々な学部の人と興味深いことが話せる。
 他と同様、大変有意義であったため。
 とても良かったから。
 普段と異なる講義の形態により、議論する力が身につく。
 相手によって変わる。環境や原子力に興味を持っている人ならば、薦めたい。
 非常にいろいろなことを活かせるから。
 普段の授業に比べ少し大変だと感じた。

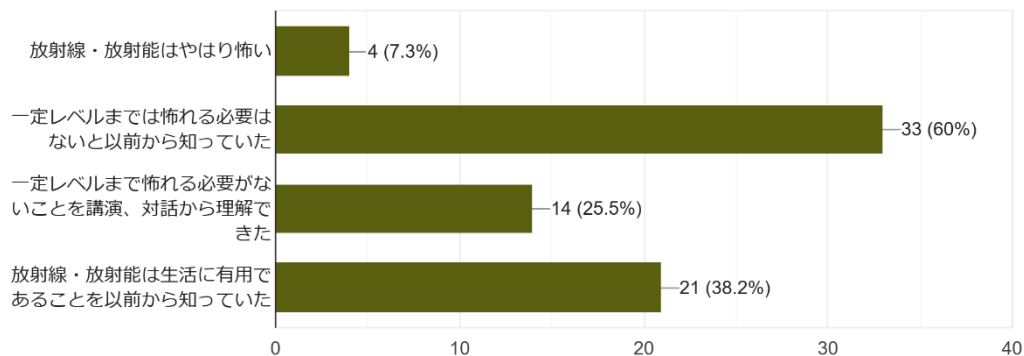
6) 放射線・放射能について伺います

(複数回答可)

放射線・放射能のイメージ	数
放射線・放射能はやはり怖い	4
一定レベルまでは怖れる必要はないと以前から知っていた	33
一定レベルまで怖れる必要がないことを講演、対話から理解できた	14
放射線・放射能は生活に有用であることを以前から知っていた	21

放射線・放射能について伺います (複数回答可)

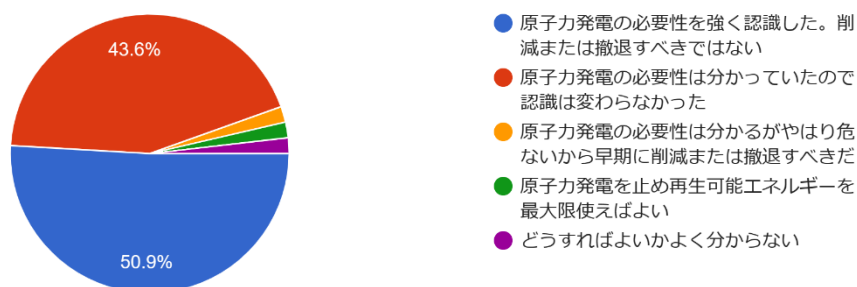
55件の回答



7) 原子力発電の必要性について伺います

原子力発電の必要性	人数
原子力発電の必要性を強く認識した。削減または撤退すべきではない	28
原子力発電の必要性は分かっていたので認識は変わらなかった	24
原子力発電の必要性は分かるがやはり危ないから早期に削減または撤退すべきだ	1
原子力発電を止め再生可能エネルギーを最大限使えばよい	1
どうすればよいかよく分からない	1

原子力発電について伺います
55件の回答



回答理由:

再生可能エネルギーだけでは対応できない
以前から原子力発電必要だと思っていたので、その意見に賛成の人達が多かった。
原子力が多くのエネルギーを発電できると知ったから。
安全であることがわかったから。
わかってたから。
デメリットばかりしか知らなかったなので、メリットもあると知れたから。
原子力は今の日本に必要なだと感じているため。
エネルギー供給において大事だから。
原発無しでは自給率向上は見込めないと思うから。
現状エネルギー不足なため。
前回の授業で原子力についてはよく説明されたから。
原子炉の有用性が高いため。
原子力は必要だから
CO2削減、費用の減少に繋がるから。

火力だけでは厳しいため。
物事においてリスクは付き物だと思うため。
授業などで原子力について学んでいたため。
新しいエネルギーのできるまでの期間など考えると、現状のエネルギー需要との兼ね合いで今こそは原子力が必要だと感じた。
CO₂を削減するためには必要不可欠だと感じた。
火力発電によるCO₂排出量の削減には原子力発電を活用して電力を賄うことは必要であると考えているから。
再生可能エネルギーだけで電力をまかないきれないと考えているから。
二酸化炭素の排出量が少ないから。
リスクがあることは前提にしつつ、リスク分散を図りさまざまな方法で電力を確保する必要があると考えているから。
原子力によって日本のエネルギー計画を進めていく必要があるから。
エネルギー収支が高い点を利用すべき。
環境問題のことを考えるとその必要性について強く認識したため。
資源の乏しい日本にとって擬似的に自給可能な資源である放射線は有用と考えるため。
自分と同じ意見だったから。
我が国ではエネルギー資源や平坦な立地に乏しいことを知っているから。
現在、日本では深刻なエネルギー不足が問題となっている。そのため、資源が少ない日本ではより発電量を増やすために原子力を用いるべきだと考えたから。
お話を聞いて、セキュリティの理解ができたため。
最近、日本では電力不足が問題となっているため、安定した電力を得るためには原子力発電は重要であるといえるから。
原子力発電の有用性を授業で理解していたから。
どれだけ安全性を高めたとしても事故になれば大きな被害を免れない事を考慮すれば、原子力を発展させる事よりも、再生可能エネルギーの効率やコストパフォーマンスの上昇に、資金や労力を投入するべきだと思うから。
選択肢の通り。
再生可能エネルギーだけで賄える量は少なく、再生可能エネルギーによって得られる発電量や実際に使用する電力は、天候や季節によって変動するため、それだけに頼ることは出来ないと考えるため。
日本の電力構成上、原子力を増やしてリスク分散を拡大すべきだというのが私の意見。再生可能エネルギーも欲しいが、現状の電力やコスト収支では実現は困難であると考えているため。
講義を通して原子力発電のメリットと事故への対策を学べたため。

エネルギー源としての供給安定性や、環境負荷の観点から当分利用され続けると考えられ、それに関連する研究や知見を積み重ねるためにも必要だと考えるから。

コスト面や効率面を考えるとメリットが大きいから。

CO₂の排出量の観点から必要。

原子力発電は事故を受けてさらに安全性が強化されたことがわかった。いざという時の対策や訓練をいくつもしているため私は使用しても大丈夫だと考える。

エネルギーセキュリティの観点から日本のエネルギーを確保するためには燃料や環境問題を考慮すると原子力発電は必要だと思ったから。

現状それしか解決策がないと思うから。

これまでの講義で原子力の安全性について学習していたため。

エネルギーセキュリティの観点から、原子力発電も有用であると思う。

再生可能エネルギーの限界を強く感じた。

化学的、理論的には制御はできるが、人的ミスで事故につながるのだから、そこを徹底的に排除し続けることで安定したエネルギーを確保できることは大きな利点であるため。

安全性が確認できたから。

放射化学関連の授業や、エネルギー関連の講義を履修してきたため。

必要性がわかっていた為。

将来起こりうる電力不足を解決するためにも、原子力発電の必要性を感じた。

自分は原子力発電を必要悪と認識しており、もっと良い発電方法が確立されたら、止めるべきだと思うが、今、そのような発電方法が存在していないため、原子力発電は必要だと思う。

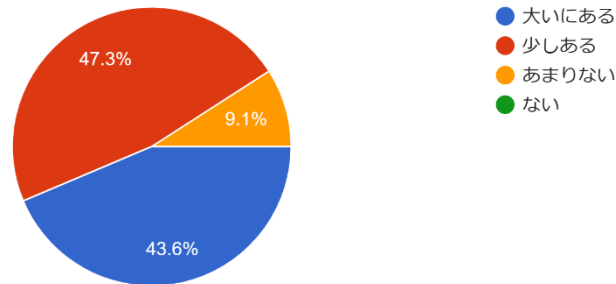
やはり危険性が高い方が優先的に見るべきだから。

今すぐ原発を動かせるというわけでもないのに、時間があるなら再生可能エネルギー等も同時進行でやっていけば良いと思う。

8)カーボンニュートラルとエネルギーの関心について伺います

関心	人数
大いにある	24
少しある	26
あまりない	5
ない	0

以下からカーボンニュートラルとエネルギーについて伺います
55件の回答



回答理由：

環境問題は身近だから。
環境は大切に災害にもつながる。
地球温暖化は自分ごとであると思うから。
これからの生活に関わるから。
あるから。
将来にいかせるから。
ガソリン車が好きで無くなるのが嫌だから。
今後重要になってくるから。
カーボンニュートラルの実現は必須だけど、まだまだ議論が不十分だと感じるため、今後どのように進展していくかが気になる。
海面上昇。
いずれは直面する課題だから。
これから人類が考えていかねばならない問題だから。
二酸化炭素排出を減らすことは大事だから。
地球上の大きな課題のひとつだから。
日本は国土的にも他の国より限界が低いため。
改革の余地があると思うため。
どのような方法で実現していくのか。
地球温暖化は災害などの増加など未来の自分に大きく関わる問題であるため。
農学選択で農業の現場にも地球温暖化は大いに影響するため。
近年、異常気象等によって目に見える程に影響が出ているから。
私が生きている間にエネルギーが不足したり温暖化が著しく進行したりする予測があるから。
あまりないため。
持続可能な社会を実現するための必須条件だと思うから。

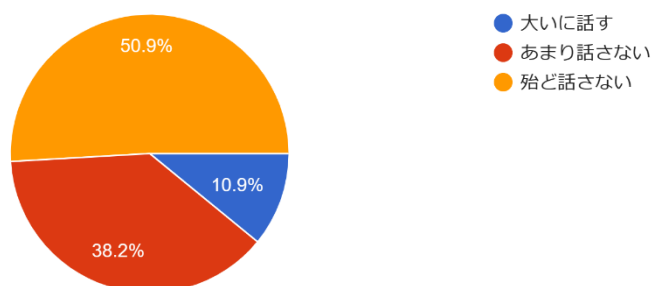
今後の自分たちの世代が直に対面する問題だと思うから。
将来この地球で生活するのは自分たちだから。
環境問題が世界的に取り上げられているなかで、どのような施策を行えば脱炭素社会の実現を目指せるのか興味があるため。
これからの社会を担う私たちに責任のあることであるため。
必要だと思うから。
近年の異常気象等ですでにその害を被っており、それが改善されるなら喜んで協力したいから。
地球温暖化が急激に進んでいることを、小さいときからたくさん学んでいるから。
環境問題に興味元々あり、温暖化問題等の解消に向けた動きが大事だと感じていたため。
地球温暖化や脱炭素社会は、これからの時代で重要になってくることだと思うから。
日本は島国であり、対策をとっていかないと電力供給問題に近い将来ぶつかると思われるから。
これからも人類が生存する上でさけては通れない道だから。
何かをするべきだとは思いますが、出来ることは限られている。
今の生活水準を保ったまま脱炭素社会の実現や地球温暖化を完全に防ぐのは難しいと考えるため。
よく報道される上、私自身も以前から興味があったから。
資源小国である日本が火力発電に頼ることが危険であることから脱炭素社会を目指すべきだと考えるから。
フロンなどの特に有害な物質については早急な対策の必要性を認めるが、CO2については現状では効果的な対策がなく、将来豊富に供給されであろうエネルギーによって解決できるから。
授業で触れていたから。
一部がビジネスになりかけているため。
これから何十年と地球で生きる上で環境の変化はとても重視するべきだと考えている。
世界情勢や価格の高騰などはよく分からないがカーボンニュートラルや地球温暖化の解決につながる技術開発に興味があるから。
あまり現実味がないから。
このような講義やニュースなどでよく見かけるから。
地球環境の悪化は我々の生活にも影響するので、関心がある。
生活に大きく関わるから。

環境についての興味を持ち続けることが、エネルギー効率の向上や発展につながっていくため。
 農学部だから。
 これからの自身の生活に関わってくるため。
 自分たちも意識すべき問題であるから。
 温室効果ガスの排出を抑えられる発電方法が導入されるのか興味がある。
 いつか取り組むべき課題であることはわかっているが、具体的に、解決策が見つかるものではないと思っており、興味はあるが、考えるだけ無駄と自分の中で結論が出ているため。
 これに関しては農学的な面でも貢献したいと思ったから。
 ガソリン代が高騰していたり、身近な問題だから。

9) 友人同士で温暖化や脱炭素社会を話題にしますか

友人同士の話題	人数
大いに話す	6
あまり話さない	21
殆ど話さない	28

友人同士で温暖化や脱炭素社会を話題にしますか
 55 件の回答



回答理由:

話題に上がらないから。
 話に上がるほど興味がない。
 あまり興味がある人が周りにいないから。
 周りの人とそのような話をする機会がないから。
 興味がない。
 そもそも話題にすらあがらないから。
 脱炭素が嫌だから。

話にでないから。
話題にあがらないから。
関心のある友人がいない。
普段の会話内容が違うから。
みんなあまり興味がないため。
自分の専門分野とは離れているから。
理解の拡散に必要だから。
その話題になる事がないため。
話す流れになることがないため。
話題に出ない。
あえて話題に上がることがない。
あまり話題に出したことがないため。
関心のある人とそうでない人とがいるから。
特になし。
話題に上がらないため。
ときどき気候の話やインターン先の企業が取り組む事業について話題にあがる。
友人の間で話すほど興味がない。
あまり話題にあがらない。
あまり身近な話題には上がらないため。
まだ、大丈夫と意味のわからない漠然とした安心感を感じているため。
話すほど詳しくないから。
自分の専攻が木質科学で友人や先輩と環境問題について話すことが多いから。
普段はあまり話さないが、授業があった後にはよく話す。
授業でこれらの話題を聞いたあと、話し合うことがあるため。
なかなかそういう機会がないから。
話すきっかけがないから。
あまり、議論しようとは思わないから。
話題に上がらない。
授業以外で触れることは少なく、それに対する危機感がそれほど大きくないため。
それに関する講義をとってることもあり、お互いに関心が高いため。
きっかけがあまりないため。
機会がない。
あまり真面目に考えたことはないから。
時間に余裕がない。
家族でテレビニュースを見て話すことがある。

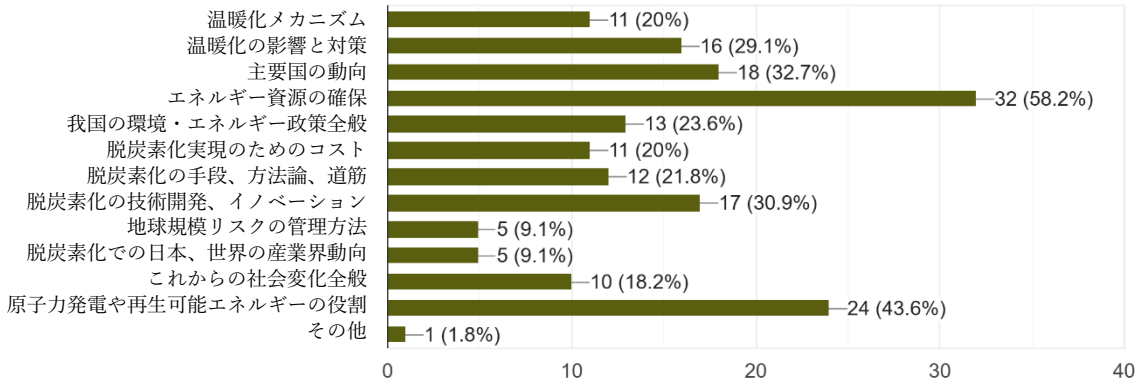
普段の講義で学んでいることと結びつけにくいから。
 異なる知識を持つ友人と話し合うことでより興味が湧くから。
 友人との会話でそういう話題にならない。
 時事問題などについて話さないから。
 その分野の専門生がいないから。
 農学部だから。
 最近友達と会うほど時間がない。
 周囲の人が興味なしであるため。
 それほど話す機会がないため。
 他人と会話する機会が少なく、必要事項しか話さないため。
 あまりそんな話にならない。
 他に話すことがあるから。

10) エネルギーと環境について興味や関心があるのはどの項目でしょうか？
 (複数回答可)

興味や関心のある項目	数
温暖化メカニズム	11
温暖化の影響と対策	16
主要国の動向	18
エネルギー資源の確保	32
我国の環境・エネルギー政策全般	13
脱炭素化実現のためのコスト	11
脱炭素化の手段、方法論、道筋	12
脱炭素化の技術開発、イノベーション	17
地球規模リスクの管理方法	5
脱炭素化での日本、世界の産業界動向	5
これからの社会変化全般	10
原子力発電や再生可能エネルギーの役割	24
その他	1

興味や関心があるのはどの項目でしょうか？（複数回答可）

55件の回答



その他の場合具体的にお書きください：

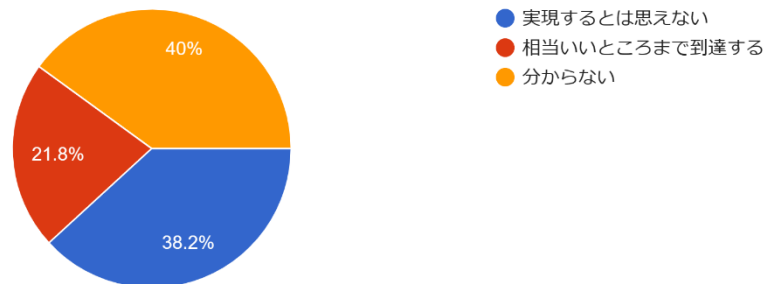
エネルギーは必ず使うから。
 エネルギーの変換効率、CO2 等問題があるものを使った発電の可能性。
 気になるから。
 日本の新エネルギー政策の現状（最前線）。
 温暖化による生物への影響。

11)日本の 2050 年脱炭素化社会の実現可能性についての見解をお尋ねします

実現可能性	人数
実現するとは思えない	21
相当いいところまで到達する	12
分からない	22

日本の2050年脱炭素化社会の実現可能性についての見解をお尋ねします

55件の回答



回答理由：

難しい。
政府から本気度があまり伝わってきてないから。
国民理解が得られなさそうだから。
わからない。
わからないから。
個人個人が関心を持つことで少しでも実現に近づくと感じたから。
問題が多すぎる。
分からないから。
今は脱炭素社会とよく言われるが、それが本当に効果があるのか目に見えてわからないから。
火力発電による炭素。
未だに火力に依存しているから。
どの程度まで進んでいるかわからないため。
様々な取り組みがされているから。
メディアがデメリットばかり拡散するから政策が進行しない。
自分含め、国民の認知度が低いと思うため。
近年の化学の発展は凄いため。
現状の研究状態がどの程度伸びるのか未知数なため。
日本の気候や技術的に再生可能エネルギーがそこまでいいところまでいくのは難しいと感じるが、原子力は技術というより感情が強くある議論だと思うため、あまり未来が読めないと思う。
分からないから。
今後どのような技術の変化や、政策の変化が起こるか分からないから。
再生可能エネルギーの導入や原子力について不安定な状態であると感じているから。
わからないため。
化石燃料への依存は電気だけでなく物流や暖房などあらゆる面である現状なので、あと30年で脱却できるとは考えられないため。
今の取り組みが順調に進んでいけばある程度の成果は得られると考える。
現状あまり進んでとは思えないが、革新的に脱炭素が進む可能性はあるのではないか。
原子力発電が多く稼働していない限りは不可能であると判断した為。
現状、予定と遅れているため。
脱炭素政策が行われているから。
進歩はしているが、現在の新エネルギーの発電効率では「脱炭素」までにはもう少し期間がかかりそう。

これからの未来を担う若い世代が原子力の知識を学ぶ機会が多いから。
現在様々な対策を行なっているが、2050年という近い未来の話になるため、すぐに解決するとは思わないから。
今後の技術の発展によると思うから。
何年に実現すると言うものは大体実現しないことが多く、実際実現年は伸びているから。
日本は周りの国の動向を伺いすぎて、議論や行動に移すまでに非常に時間がかかるから。
東日本大震災のような災害などが起こり、推進できなくなる可能性もあれば、新技術の発見により、実現できる可能性もあり、どうなるかわからない。
技術的には発展が可能だが、導入にあたって、世論の動きは別れたり、否定的な意見も出てくると考えるため。
実現には各国が一丸となって取り組む必要があるが、先進国と途上国では当然状況が違う上、現状先進国同士でもいがみ合っているため。
火力発電がある限り二酸化炭素の排出をゼロにすることができないこと、実質ゼロにする技術がどの程度発展しているのか知らないため。
化石燃料を代替できるほどのメリットがない。
あまり知らない。
いつか家庭、企業の努力の限界が来ると考えられるため。
現在世界規模で力を入れて取り組んでいるため技術の発展もあると思いき期待できると考える。
今現状で浮上している問題が30年で解決できるとは思えないから。また、国民の理解を得られてないから。
現状あまり進んでいないように感じるため。
原子力の稼働が遅いから。
将来は不確定であり、今のウクライナのようにどこが戦争が起きたりすると国際情勢が変化するから。
原発と再エネ発電を最大限利用しても脱炭素には届かないし、新技術が商用利用できるようになるにはまだしばらくかかるだろうから。
世界全体の協力が必要であるが、世界は協調できてるとはいえず、一つの国だけで行ったところで、自ら損なことを背負い続けることになるため。
目標達成に向けて様々な企業が取り組んでいるから。
脱炭素社会には原子力発電などの安定稼働が必須となってくる。それらが社会に受け入れられかつ、電気自動車などの普及も進まなくてはならないため2050年では厳しいと考える。
取り組みは少しずつであるが進んでいるため。

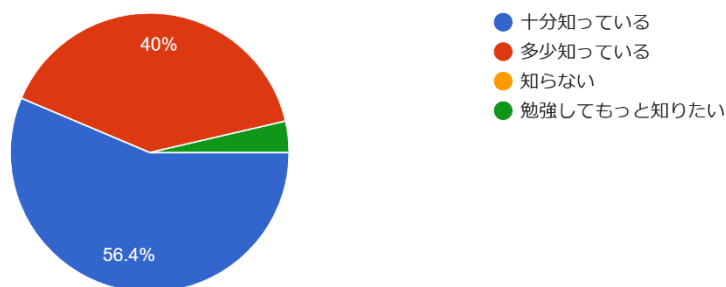
このまま原子力発電への風評被害が消えない限りは実現可能とは思えない。
 未来のこのため、わからない。技術革新などが起これば、それなりにいいところ
 まで到達する可能性はあると思うが、現実的に難しいと思う。
 様々な企業が取り上げて取り組んでるから。
 インフラ整備が追いつかないから。

12) 地球温暖化対策のための脱炭素達成には、これからのエネルギー（化石燃料、再エネ、原子力）の選択が大変重要ですがあなたはこのことを知っていますか？

脱炭素達成にはエネルギーの選択が重要であることに認知度	人数
十分知っている	31
多少知っている	22
知らない	0
勉強してもっと知りたい	2

地球温暖化対策のための脱炭素達成には、これからのエネルギー（化石燃料、再エネ、原子力）の選択が大変重要ですがあなたはこのことを知っていますか？

55件の回答



□ 本企画を通して全体の感想・意見などあれば自由に記載ください

自分とは違う分野の人たちの様々な意見を話し合うことができて良かった。
 勉強になった。
 興味ある分野についてしれたためよかった。
 さまざまな人の意見を聞くことができて貴重な機会であった。また自分でも脱炭素社会に向けて何が出来るか考えていきたい。
 このアンケートは、見直した方がいいと思います。
 ただ話し合うだけでは時間が足りないと感じたため、より具体的に方針を定めた状態から議論が始められたら良かったと感じた。

議論をまとめて発表する役割を任せられたが、班員の意見をまとめ、要点を発表することが出来た。
対話会は良かった。また、参加できる機会があれば、参加したい。

以上